

(平成24年2月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>2月期の野菜の入荷状況は、根菜類、葉菜類、果菜類では、多くの品目で生育期の天候不順から作柄不良がみられ、根菜類を除いて入荷減となった。根菜類は、長ダイコンでは、中央集散機能の発揮により入荷前年並みとなった。西洋ニンジンでは、作柄は産地により様々であったが入荷減となった。根菜類全体では、入荷前年並みとなった。土物類では、前年の入荷が少なかったことから、入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、入荷減となった多くの品目で単価高となった。前年単価高であった土物類では、単価安となった。野菜全体では、前年同期を8%上回った。</p> <p>品目別には、バレイショ、タマネギが入荷増の単価安、長ダイコン、キャベツ、ピーマンが入荷並の単価高、ハクサイ、レタス、ホウレンソウ、キュウリ、ナス、トマトが入荷減の単価高、西洋ニンジンが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が前年並み、価格は5%高となった。 葉菜類は、入荷が11%減少し、価格は20%高となった。 果菜類は、入荷が3%減少し、価格は13%高となった。 土物類は、入荷が16%増加し、価格は18%安となった。</p>
果 実	<p>2月期の果実の入荷状況は、柑橘類、リンゴ類、イチゴ類で生育期の天候不順から作柄不良がみられた。柑橘類では、多くの品目で、前年の入荷が少なかったことから入荷増となった。一方、リンゴ類、イチゴ類では、入荷減となった。メロン類では、多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積を減少させており、入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、柑橘類では、多くの品目で入荷増により単価安となった。リンゴ類、イチゴ類、メロン類では、多くの品目で入荷減により単価高となった。果実全体では、前年同期並みとなった。</p> <p>品目別には、ミカン、イヨカンが入荷増の単価安、ふじ、王林、イチゴ、アールスメロンが入荷減の単価高となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が21%増加し、価格は18%安となった。 リンゴ類は、入荷が19%減少し、価格は45%高となった。 イチゴ類は、入荷が34%減少し、価格は32%高となった。 メロン類は、入荷が31%減少し、価格は28%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p data-bbox="236 295 379 331">【根菜類】</p> <p data-bbox="220 340 395 376">長ダイコン</p> <p data-bbox="220 577 427 613">西洋ニンジン</p>	<p data-bbox="513 340 1439 519">徳島県，長崎県を中心に，香川県，鹿児島県，和歌山県からの入荷。各産地ともに低温の影響から肥大不良がみられたものの，中央集散機能の発揮により，入荷量は，前年同期並みとなった。価格は，全国的な品薄状態から前年同期を17%上回った。</p> <p data-bbox="513 577 1439 855">鹿児島県を中心に，愛知県，長崎県，中国，茨城県からの入荷。主力の鹿児島県産は，順調な入荷となったものの，長崎県産では，天候不順の影響から作柄不良となり，全体の入荷量は，前年同期を12%下回った。価格は，入荷減ながら細物の割合が高く，前年同期を10%下回った。</p>
<p data-bbox="236 871 379 907">【葉菜類】</p> <p data-bbox="220 916 363 952">ハクサイ</p> <p data-bbox="220 1153 363 1189">キャベツ</p>	<p data-bbox="513 916 1439 1095">兵庫県を中心に，鹿児島県，茨城県，愛知県，長崎県からの入荷。各産地とも低温，干ばつの影響から肥大が悪く，大玉の入荷が少なかった。入荷量は，前年同期を18%下回った。価格は，入荷減により前年同期を15%上回った。</p> <p data-bbox="513 1153 1439 1377">愛知県を中心に，鹿児島県，兵庫県，滋賀県，大阪府からの入荷。多くの産地で，低温，干ばつの影響から肥大が悪く，小玉傾向での入荷となった。一方，鹿児島県産の入荷は，順調であった。全体の入荷量は，前年同期並みとなった。価格は，全国的な品薄状態から前年同期を8%上回った。</p>
<p data-bbox="220 1444 427 1480">ホウレンソウ</p>	<p data-bbox="513 1444 1439 1624">京都府，徳島県を中心に，福岡県，茨城県，滋賀県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響により作柄が悪く，入荷量は前年同期を18%下回った。価格は，入荷減により前年同期を33%上回った。</p>
<p data-bbox="220 1682 331 1718">レタス</p>	<p data-bbox="513 1682 1439 1861">兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，岡山県からの入荷。各産地とも低温，干ばつの影響により小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を22%下回った。価格は，入荷減により前年同期を30%上回った。</p>

【果菜類】

キュウリ

宮崎県を中心に、高知県、徳島県、滋賀県、愛媛県からの入荷。
各産地とも低温と曇天が続いたことから、作柄不良がみられ、
入荷量は、前年同期を14%下回った。
価格は、入荷減により前年同期を30%上回った。

ナス

高知県を中心に、岡山県、徳島県からの入荷。
各産地とも低温と曇天が続いたことから、作柄不良がみられ、
入荷量は、前年同期を16%下回った。
価格は、入荷減により、前年同期を11%上回った。

トマト

熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、京都府からの入荷。
各産地とも低温と曇天が続いたことから、作柄不良がみられ、
入荷量は、前年同期を13%下回った。
価格は、入荷減により、前年同期を27%上回った。

ピーマン

宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県からの入荷。
各産地とも中旬以降、曇天が続いたことから入荷減となったもの、
月全体では、前年同期並みであった。
価格は、中旬以降の入荷減から単価高で推移し、前年同期を
23%上回った。

【土物類】

バレイショ
(メイク含む)

北海道を中心に、鹿児島県、長崎県からの入荷。
長崎県産は、干ばつの影響から作柄不良がみられ、入荷減とな
った。一方、鹿児島県産は、十分な降雨に恵まれ、順調な入荷と
なった。全体の入荷量は、前年が不作であったこともあり、前年
同期を21%上回った。
価格は、入荷増であったことまた、前年が単価高であったこと
から、前年同期を16%下回った。

タマネギ

北海道を中心に、兵庫県、タイ、静岡県、中国からの入荷。
主力の北海道の貯蔵品では、地域により作柄は、様々であった。
静岡県産の新物では、生育期の天候不順から作柄不良がみられ
た。入荷量は、前年が不作であったことから18%上回った。
価格は、前年が単価高であったことから前年同期を29%下回
った。

【その他野菜】

生シイタケ

徳島県を中心に、広島県、北海道、和歌山県、岡山県からの入
荷。多くの産地で低温の影響により発生が少なかった。広島県産

では、比較的温暖であったことから入荷増となった。全体の入荷量は、前年同期並みとなった。

価格は、不況による需要の低迷が続いており、前年同期を3%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、佐賀県、福岡県、大分県、徳島県からの入荷。主力の和歌山県産で、9月以降、高温や降雨が続いた影響から作柄不良がみられた。入荷量は、前年が裏年で入荷が少なかったことから前年同期を29%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、下位等級の入荷が多く、前年同期を25%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。</p> <p>生育期の天候不順により、着色不良等、作柄不良がみられたものの、前年の入荷量が少なかったことから、入荷量は、前年同期を26%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により前年同期を14%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県からの入荷。</p> <p>生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を20%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を50%上回った。</p>
王林	<p>青森県からの入荷。</p> <p>生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を29%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を38%上回った。</p>
イチゴ	<p>熊本県を中心に、福岡県、大分県、佐賀県、長崎県からの入荷。各産地とも、低温の影響から生育の遅れがみられた。入荷量は、前年同期を34%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を32%上回った。</p>
アールスメロン	<p>静岡県、高知県、宮崎県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積を減少させている。入荷量は前年同期を23%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を21%上回った。</p>